

2025 年 9 月 12 日

各 位

会 社 名 科 研 製 薬 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 堀 内 裕 之
(コード番号 4521 東証プライム市場)
問 合 せ 先 広 報 I R 部 亀 津 学
(TEL. 03-5977-5002)

爪白癬治療剤「クレナフィン®爪外用液 10%」の オーソライズド・ジェネリック (AG) 新発売のお知らせ

科研製薬株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：堀内 裕之、以下「科研製薬」）は、子会社である科研ファルマ株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：佐久田 啓三、以下「科研ファルマ」）が、2025 年 6 月 13 日付で薬価収載された、「クレナフィン®爪外用液 10%」（以下「クレナフィン」）のオーソライズド・ジェネリック (AG) である『エフィナコナゾール爪外用液 10%「科研」』（以下「本剤」）を本日、発売しましたのでお知らせいたします。

本剤は、有効成分、原薬、添加剤、製造方法・製造場所、容器、効能効果が「クレナフィン」と同一のオーソライズド・ジェネリック (AG) であり、科研ファルマが製造販売承認を取得し、科研製薬が委託を受け製造いたします。

また、本剤の適正使用等の情報提供及び安全性情報等の情報収集は、科研製薬の MR が担当します。これまで、「クレナフィン」で蓄積してきた臨床データや知見などの情報を最大限に活用し、今後もより多くの患者さんのクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献いたします。

以上

【製品概要】

販売名	エフィナコナゾール爪外用液 10%「科研」
英 名	Efinaconazole Topical Solution「KAKEN」
一般名	エフィナコナゾール
効能又は効果	〈適応菌種〉皮膚糸状菌（トリコフィトン属） 〈適応症〉 爪白癬
用法及び用量	1 日 1 回罹患爪全体に塗布する。
製造販売承認日	2024 年 2 月 15 日
薬価基準収載日	2025 年 6 月 13 日
発売日	2025 年 9 月 12 日
薬 価	676.30 円／g（参考：先発医薬品 1,396.80 円／g） 3.56g（4mL）：2,407.628 円（5 本包装、10 本包装） 7.12g（8mL）：4,815.256 円（5 本包装）
製造販売元	科研ファルマ株式会社
販 売 元	科研製薬株式会社

【製剤写真】



3.56g (4mL)



7.12g (8mL)

本剤の容器は、科研製薬と筆ペンなどの文具メーカーであるぺんてる株式会社等との共同開発により独自設計された「クレナフィン」の容器と同一のものです。また、ハケを含む本剤の塗布具構造は、「爪白癬薬用塗布具」として特許を取得しており、爪への塗りやすさにこだわったハケー体型のボトルを採用しています。

(参考資料)

- ・オーソライズド・ジェネリック（AG：Authorized Generic）について
先発医薬品メーカーから特許使用の許諾を得て製造されたジェネリック医薬品です。
- ・「クレナフィン®爪外用液 10%」（一般名：エフィナコナゾール）について
「クレナフィン」は、科研製薬が創製した新規のトリアゾール系化合物であり、爪の構成成分であるケラチンとの親和性が低いことから爪の透過性に優れ、爪の中や爪床（爪の下の皮膚）に浸透することにより爪白癬に優れた臨床効果を発揮します。科研製薬が、日本初の外用爪白癬治療剤として2014年9月に発売しました。また、科研製薬は、「クレナフィン」の海外展開を積極的に進めており、北米や韓国などでは既に販売され、多くの患者さんに使用されています。さらに、2025年には、欧州においてイタリアとドイツで承認を取得しました。
- ・科研ファルマ株式会社について
科研ファルマは、科研製薬のグループ会社として1988年に設立されました。
「あなたに笑顔」をモットーに、医薬品、医薬品原料や医薬品中間体、健康食品や化粧品を取り扱っています。科研ファルマならではの発想で、もっと人々の健康づくりに貢献したいとの思いから、独自の商品を企画しお客様に直接お届けしています。
詳細については、<https://www.kaken-pharma.co.jp/>をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

メディア・投資家・株主の皆さま	医療機関・卸関係者・患者の皆さま
科研製薬株式会社 広報IR部 TEL：03-5977-5002	科研製薬株式会社 医薬品情報サービス室 TEL：0120-519-874

注意事項:

このニュースリリースに記載されている当社グループの事業に関する将来の見通し等の記述は、現時点で入手可能な情報から予測したものであり、今後の様々な要因により実際の結果とは異なる可能性があります。また、このニュースリリースに含まれている医薬品（開発中のものを含む）に関する記述は、宣伝、広告等や医学的アドバイスを目的としたものではありません。